

一 般 質 問 通 告 書

宇美町議会会議規則第61条第2項の規定により通告します。

令和5年5月24日

宇美町議会議長 殿

宇美町議会議員 丸山 康夫

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>どう進めるごみの減量 ～ごみ減量プロジェクトチームの立ち上げを～</p>	<p>今年度当初予算では、ごみ処理事業費のうちRDF処理業務委託料が約3億4052万円、前年比約1億741万円、率にして46%の増額となっている。</p> <p>財源は全て一般財源であり、教育や福祉などの本来住民福祉の向上に使われるべき予算から絞りだし、文字どおり灰となって消えている。</p> <p>RDF処理業務委託料の処理費用を削減するためには、ごみの量を減らすしか道はないのだが、「宇美町一般廃棄物処理実施計画」の一般廃棄物の排出抑制のための方策に関する事項を見ても、ありきたりの抑制策が示されているのみで、効果を検証しているのかが見えてこない。</p> <p>今こそごみ減量プロジェクトチームを立ち上げ、取り組むべきではないか。</p> <p>①RDF処理費用が増額となった要因は ②宇美町一般廃棄物処理実施計画に示されている一般廃棄物排出抑制のための方策内容は ③家庭用コンポストの販売実績は ④啓発活動の実態は ⑤出前講座の実態は ⑥施設見学等の実態は ⑦資源ごみなどの分別の実態は ⑧一般家庭から出る剪定枝などは、燃えるごみ袋で出すしかないが、ごみ減量の観点から他の方法が考えられないか ⑨ごみ収集運搬業務委託料も約3億4千万円予算計上されているが、予算削減へ向けた対策は ⑩当初予算審査でごみの減量化を進めると回答されたが、何か対策は考えたのか ⑪早急にごみ減量プロジェクトチームを立ち上げ全庁的な対策を提案するが、町長の見解は</p>	<p>町長</p>